

# アートラボ 2024 第Ⅲ期 ひらくツール ふれるはなすあるく



## 会 期

2024年11月2日(土)～2025年1月19日(日)

長野県立美術館本館2階の「アートラボ」は、視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な「ラボラトリー（実験室）」となることを目指しています。2024年度の第Ⅲ期展覧会では、長野県立美術館リニューアルの際に制作された「ひらくツール」（2021年）と、そのデザインを担当したデザイナー齋藤名穂を紹介します。

## ■ アートラボ 2024 第Ⅲ期

### 【展覧会概要】

【会 期】 2024年11月2日(土)～2025年1月19日(日)

※休館日＝水曜日、年末年始(12/28 - 1/3)

【会 場】 長野県立美術館 本館2階 アートラボ

【開館時間】 9:00～17:00(展示室入場は16:30まで)

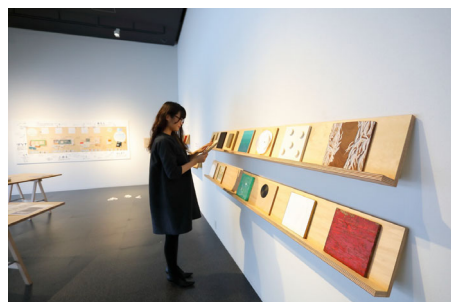
【観覧料】 無料

### 【展示作品(予定)】

長野県立美術館ひらくツール(デザイン:齋藤名穂、2021年制作)

《たてものキューブ》、《ふれるコレクション》、《ふれるアートカード》

※《ふれる小さな長野県立美術館》は本館1階交流スペース前に常設展示中のためパネル展示を予定



## ■ 齋藤名穂(さいとう・なほ)

建築家、デザイナー。UNI DESIGN 主宰。ヘルシンキ芸術デザイン大学(現アアルト大学)空間デザイン修士課程修了。建築の空間や場所を、見えない方と一緒に把握するための「さわる地図」を制作している。単なる凹凸の表現ではなく、使われている素材や形の触感をだれかと楽しむためのコミュニケーションツールとして、東京都庭園美術館のウェルカムルームのための「さわる小さな庭園美術館」や東京国立博物館の「東京国立博物館本館のさわる地図」などを制作。千葉市美術館つくりかけラボ15「空間をあむ 手ざわりハンティング」(2024年)への参加をはじめ、美術館での展覧会の空間設計では、「クマのプーさん」展(2022年)、「アーノルド・ローベル」展(2021年)、「ルート・ブリュック 蝶の軌跡」展(2019年)などを担当。

<https://u-ni-design.com/>

## ■ 関連イベント

### アートラボ 2024 第Ⅲ期ひらくツール「名穂さんとひらくツール鑑賞会」

デザイナーの齋藤名穂と長野県立美術館は、2021 年度にインクルーシブ・プロジェクトの一環として、ひらくツールを開発しました。

本イベントでは、展示中のひらくツールを名穂さんと一緒に触れながら、その感覚についておしゃべりを楽しむ鑑賞会を開催します。手触りから見つける感触や記憶・気づきを、その場にいる人同士で交換しながら、鑑賞してみましょう。

日 時：2024 年 11 月 2 日（土）10:00 ～ 11:30 頃

ゲスト：齋藤名穂（UNI DESIGN）

会 場：長野県立美術館 本館 2 階 アートラボ

参加費：無料

対 象：どなたでもご参加いただけます

定 員：10 名程度（申込不要、当日先着順、入退出自由）

※作品との接触を防ぐため、イベント開催時間中、アートラボへの入場を制限する場合がありますので、ご了承ください。

※障がいのある方やサポートが必要な方、手話通訳や要約筆記を希望される方は、美術館 HP 内お問合せフォームより 2 週間前までにご連絡ください。

## ■ 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室 〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4（善光寺東隣）

TEL：026-232-0052 FAX：026-232-0050 E-mail：nam-pr@naganobunka.or.jp